

平成29年12月1日

# What's New

柳津町商工会

http://www.yanaizu.net/

TEL(058)387-6464


FAX(058)387-6878

yanaidu@ml.gifushoko.or.jp








地域経済の動き、消費動向・トレンド等、経営に役立つ情報を定期的にお届けします。

10月岐阜県内の景気動向（財務省東海財務局岐阜事務所 10月24日発表）

**前回、引き上げた景気判断を今回も据え置いて、景気回復継続の判断をしている。**

総括判断	前回（29年 7月判断）	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している	前回比較 
	今回（29年10月判断）	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している	

## 【各項目の判断】

項目	前回（29年 7月判断）	今回（29年10月判断）	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	
雇用情勢	着実に改善している	着実に改善している	
住宅建設	前を下回っている	前年を上回っている	
設備投資	29年度通期は増加見通し	29年度通期は増加見通し	
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	
企業収益	29年度通期は減益見込み	29年度通期は増益見通し	

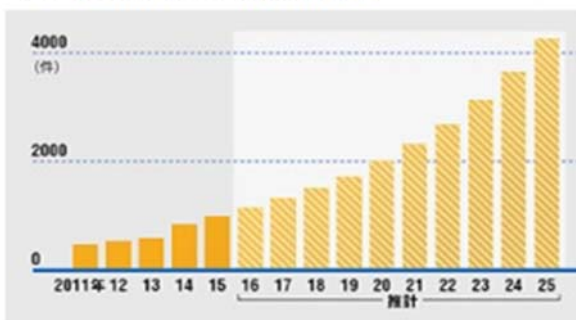
## ▲▼▲▼ 注目の話題 ▲▼▲▼

### 最近のM&A（エム・アンド・エー）事情

M&Aは英語のMergers（合併）and Acquisitions（買収）の略です。つまり、複数の企業を一つの企業に統合したり（合併）、ある企業が他の企業の株式や事業を買い取ったりする事（買収）をいいます。

#### 今後、急速に増えていく

#### ● 中小企業のM&A件数の推移



出所：ゴールドマンサックス証券

昨今、中堅・中小企業を対象にしたM&Aが急速に拡大しています。ゴールドマンサックス証券が、M&A仲介大手の日本M&AセンターやM&Aキャピタルパートナーズ、ストライクの3社の仲介実績などを基に行った分析によると、2011年に463件だった件数は15年に1,000件に到達。20年には2,000件、25年には4,000件を突破するといえます。こうした仲介業者以外にも銀行なども中小企業のM&A支援を本格化しており、実際の件数はさらに多いものとみられます。

中小企業のM&Aが急増した引き金は高度成長期に創業した大量の経営者の高齢化です。1995年に50～54歳だった経営者年齢の最多層は、2015年には65～69歳に上がっています。引退年齢が近づいてきたことが明らかです。

多くの市場が伸び悩んでいる日本。後継者不足が大きなきっかけですが、M&Aを通じて再編が進めば、「停滞市場」でも競争力のある企業が生まれることとなります。

## 棚卸の重要性について

棚卸は売上原価を計算する上で重要ですが、面倒な作業です。このため、帳簿等のみを基に期末在庫を計算し、決算書を作成してしまっている方はいらっしゃいませんか？

そこで、棚卸の目的を知り、手間がかかる棚卸にも重要な意味があることを説明します。

### 1 棚卸とは

棚卸とは、在庫（商品、製品、仕掛品、材料）の数量を実際に数えることで、実地棚卸ともいいます。数量を数えると同時に品質をチェックし、不良在庫を確認します。

### 2 棚卸の目的と重要性

#### (1) 売上総利益の計算（決算書の作成）

売上総利益は「売上－売上原価」で算出します。

売上原価を計算するためには、期末の在庫を把握する必要があります。小売業を例にとると、『**売上原価＝期首商品棚卸高＋当期商品仕入高－期末商品棚卸高**』で計算するため、期末の商品在庫を数えて期末商品棚卸高を確定させなければなりません。

目分量の棚卸でも一応、計算することはできますが、次の(2)、(3)の重要なサインを見逃してしまう恐れがあります。また、売上総利益率（＝売上総利益÷売上高）が毎年、大きく変動すると、決算書の信頼性が揺らいでしまうことにもなりかねません。

#### (2) 帳簿上の在庫を実際の在庫に修正

手書きで在庫の出入りをメモしている、あるいはPOSシステムのようにリアルタイムで在庫を把握していても、これらは帳簿上の在庫に過ぎません。いくら高性能な在庫管理システムを導入しても、記載漏れ、システムへの入力ミス、盗難や万引き、内部の不正などによって、帳簿上の在庫と実際の在庫に差が生じることは避けられません。

そこで、月末、決算日など定期的に棚卸を行うことで、帳簿上の在庫を実際の在庫に修正する必要があるのです。

帳簿上の在庫と棚卸によって把握した実際の在庫の差異について、その原因を調査することで管理体制の強化につなげることができます。なお、自家消費による在庫の減少を正確に計上することも重要です。

#### (3) 滞留在庫や品質をチェック

棚卸を行って在庫の姿を実際に確認することで、滞留在庫や不良品を確認することができます。売上や利益は結構あるのにキャッシュがないという会社は、売れない在庫、使わない在庫、不良在庫が滞留して山積みになっている場合が多くみられます。

定期的な棚卸によって滞留在庫を素早く把握、そして滞留在庫を未然に防ぐような体制を整えることができれば、徐々に財務体質は改善されてキャッシュも増えてきます。

棚卸は骨の折れる作業ですが、強いお店・会社に成長させるためにはなくてはならない手続きであるということをご理解ください。